禁転載複製

「中央職業能力開発協会編」

令和８年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野

３級　ロジスティクス管理

試　験　問　題

(11 ページ)

１．試験時間　110 分

２．注意事項

（１） 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。

（２） 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。

（３） 試験問題は、40題あります。

（４） 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。

（配　　点）問題１～問題40　　各2.5点　　合計100点

（合格基準）試験全体として概ね60%以上の正答。

（５） 関係法令、会計基準、ＪＩＳ等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和８年５月１日時点で施行されている内容に基づくものとします。

（６） マークシートにマークする際には、ＨＢ又はＢの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。

（７） 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。

（８） 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを１つだけ選んで間違えないようにマークしてください。

（９） 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。

(10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。

(11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。

(12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

(13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。

(14) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。

(15) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

禁転載複製

問題１　動脈物流に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．動脈物流とは、原材料の調達から、製品や物資が最終消費者も含む納品先に届くまでの物流をいう。
イ．調達物流の内、日本国内の調達先からの物流については、日本の商慣行では納入側の業務であるとし、自社ロジスティクス部門の管轄外としている企業が多い。
ウ．社内物流は、社内の物流拠点に補充する量やタイミングをコントロールしやすいことから、効率性を重視して構築される。
エ．メーカーから卸売業者への販売物流では、自社で独自に決めた物流サービス水準で物流システムを構築する。

問題２　ロジスティクス管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ロジスティクス管理では、顧客に提供する物流サービスを実現するための物流システムを構築する。
イ．物流サービスとは、物流がその活動において付ける価値である。
ウ．物流システムでは、物流の６つの機能それぞれを、できる限り効率的・効果的に構築・運営することが重要である。
エ．物流システムを構築するとき、代表的な管理対象として、在庫、輸配送、物流コストなどがある。

問題３　ロジスティクスにおける関連部門との連携等に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．円滑なロジスティクスは、各部門がそれぞれ効率化することにより実現できる。
イ．ＩＣＴの進展により企業間で大量のデータ交換が容易になったことにより、サプライチェーン・マネジメント（ＳＣＭ）が進展してきた。
ウ．ロジスティクスにおいては、最終的な顧客である消費者の行動や思考の変化について常に意識しておくことが必要である。
エ．ロジスティクスにおいて、施設が立地する地域社会とは、交通安全の確保や騒音の防止、廃棄物の散乱防止などに努めることにより融和を図る。

禁転載複製

問題４　労働環境改善や生産性向上を通じたトラックドライバー（以下、ドライバーという。）の人手不足解消を目的に、国や全国的な業界団体が様々な取組みを実施しているが、こうした取組に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．働き方改革関連法により、ドライバーの最低賃金に対する罰則付き規制の適用が始まった。
イ．国は、トラック輸送の生産性の向上と物流の効率化、女性や60代以上のドライバーも働きやすい労働環境の実現といった「ホワイト物流」の取組みを企業等に対して促している。
ウ．国が実施しているトラガール促進プロジェクトは、女性ドライバーの運転技能向上を目的としている。
エ．国は、外国人ドライバーの育成を目的に、新しい在留資格である「育成就労」制度を推進している。

問題５　環境問題及び環境関連法規に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．年間2,000万トンキロ以上の貨物の輸送方法等を決定する荷主は、省エネ法（エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律）の特定荷主である。
イ．自動車ＮＯｘ・ＰＭ法（自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法）におけるＰＭとは、ディーゼル車の排出ガスなどに含まれる粒子状物質のことである。
ウ．ディーゼルトラックなどの排気ガスを原因として、過去に公害訴訟を起こされたことがある。
エ．自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）は、使用済みのトラックなどの再資源化を目的に定められている。

問題６　陸上貨物運送事業のうちトラック運送業における労働災害の実態に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．労働災害の発生率は、全産業平均とほぼ同じである。
イ．労働災害は、運転時の交通事故によるものが多い。
ウ．労働災害の発生件数は、長期的に減少傾向にある。
エ．労働災害の多くは、自社事業所以外で発生している。

禁転載複製

問題７　これまでの総合物流施策大綱に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．総合物流施策大綱は、省庁横断的に策定されている。
イ．総合物流施策大綱（2005-2009）では、施策の一つとして京都議定書発行に基づくCO_2削減に向けた環境保護の物流施策が進められた。
ウ．総合物流施策大綱（2017年度～2020年度）では、施策の一つとして新技術（ＩｏＴ、ＢＤ、ＡＩ等）の活用による物流革命の推進を図ることにした。
エ．総合物流施策大綱（2026年度～2030年度）において、初めて労働力不足対策と物流構造改革の推進が謳われた。

問題８　物流部門内にコンプライアンスを徹底するための従業員教育として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．管理者による部下への日常指導を行う。
イ．定期的に教育を繰り返す。
ウ．新たな問題発生の都度、ガイドラインを更新する。
エ．教育対象は、正社員とする。

問題９　倉庫業法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．他人から寄託された物品を倉庫で有償で預かる事業は、倉庫業に該当する。
イ．運送契約に基づく運送途上での一時保管は、倉庫業には該当しない。
ウ．倉庫料金の設定又は変更については、国土交通大臣又は地方運輸局長に事前に届け出る必要がある。
エ．営業倉庫では、原則として、倉庫毎に所定の要件を満たした倉庫管理主任者を配置する必要がある。

問題10　フルフィルメントサービスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．受注から、商品や製品の顧客への配送、返品対応まで、一括して行う仕組みのことである。
イ．フルフィルメントの元々の意味は、業務の遂行、実行、達成というものである。
ウ．フルフィルメントサービスを利用するメリットの一つは、物流関連業務のノウハウが蓄積できることである。
エ．フルフィルメントサービスの一部として、撮影、採寸、原稿作成の３つの業務（ささげ業務ともいう）を行うことがある。

禁転載複製

問題11　荷主が顧客に提供する物流サービスに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．短いリードタイムや低い誤配率などの実現が求められる。
イ．物流サービスレベルを上げると売上増につながり、物流コストが下がる要因となる。
ウ．購入履歴の照会や製品のアドバイス、営業の各種提案、故障時の修理や保守が含まれることが多い。
エ．物流サービスレベルの向上を検討する際は、まず、損益を管理している経理・財務部門に相談することが望ましい。

問題12　荷主の物流サービス管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

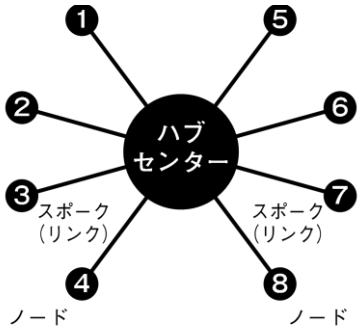
ア．物流サービスレベルは、納品先の現場の要請によって頻繁に変わることがあるので、納品元は臨機応変に対応することが望ましい。
イ．納品先に提供する物流サービス水準は、競合他社のサービスレベルよりも高いことが必要である。
ウ．要望される物流サービスを全て提供することは、顧客満足を高めることにつながるので望ましいことである。
エ．競合他社のサービス内容やレベルを調べる手段の一つに、納品先にヒアリングするという方法がある。

問題13　物流品質の向上に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流品質の向上のためには、作業現場の整理・整頓・清掃・清潔等の実践が必要である。
イ．物流品質の向上のためには、検査箇所・検査項目を増やすなどして、恒久的に検査を強化することが必要である。
ウ．物流品質管理の向上の取組として、全社的な品質向上委員会等を設置することも有効である。
エ．物流品質の向上活動においては、現場で現物と現実に向き合って確実に活動を実践することが必要である。

禁転載複製

問題14　従来の直行システムから、ハブ＆スポーク・システムに変更した場合に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。



ア．リンクの数は少なくなる。
イ．輸送経路は短くなる。
ウ．荷物の積み下ろし回数が増えることがある。
エ．ハブセンターでの設備投資が必要になる場合がある。

問題15　物流の結節点（ノード）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．商品が出荷される工場は、ノードには含まれない。
イ．ノードの代表例として、流通業務団地、トラックターミナルなどの広域物流拠点がある。
ウ．ノードには、住宅やオフィスや店舗などのモノの最終消費地点が含まれる。
エ．ノードとノードを結ぶ輸送経路のことを、リンクという。

問題16　特別積合せ貨物運送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．特別積合せ貨物運送とは、特定の荷主の貨物を積み合わせて輸送する仕組みである。
イ．特別積合せ貨物運送では、単に輸送だけでなく、貨物追跡などの情報サービスも提供することが一般的である。
ウ．特別積合せ貨物運送では、集荷・配送、幹線輸送を全て自社で行うことが一般的である。
エ．近年では、幹線輸送の半分以上が鉄道や船舶で行われるようになってきている。

問題17　物流データの分析に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．トラック輸送の実態を把握するための方法として、運転日報の分析がある。
イ．倉庫の入出荷データは、入出荷作業の分析だけでなく、在庫の過不足の分析にも使用できることもある。
ウ．物流ＯＤ表（起終点表）は、出荷頻度の分析に用いられる。
エ．倉庫内作業における作業種類別の処理量と所要時間を収集することで、各作業の生産性を分析できる。

禁転載複製

問題18　自社工場から顧客に配送する物流拠点を設定する場合に考慮すべき点として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物量については、現在の実績値だけでなく、将来の需要変動も考慮する。
イ．パートタイム従業員を多く雇用する場合は、その確保の容易性に配慮する。
ウ．拠点候補地の将来における道路整備計画、公共物流拠点整備計画も参考にする。
エ．物流拠点は、輸配送コストに影響する物理的距離が最小となる立地にする。

問題19　物流の委託先選定の考え方に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流コスト低減のため、定期的に複数の物流事業者から見積りを取得し、安価な順に物流事業者を組み合わせて委託先編成を行う。
イ．物流は、輸送、保管、荷役、包装、流通加工、情報の各機能から成り立つので、全ての機能を一括委託できる大手物流事業者に絞って委託先を選定する。
ウ．事業方針や営業方針を十分勘案し、物流委託の目的や範囲、期待するサービス水準をあらかじめ明確化して物流委託先選定を行う。
エ．各物流事業者から提案を受けた場合、運賃・料金面で最も有利な提案をした物流事業者を委託先として選定する。

問題20　荷主の物流拠点集約に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流拠点の集約の際に重視すべき項目の一つは、物流コストの削減効果である。
イ．一般的に物流拠点を集約すると、物流サービス水準が低下する可能性がある。
ウ．一般的に物流拠点を集約すると、削減した拠点数と同じ割合で総在庫量も減少していく。
エ．高速道路網の整備などが近年の物流拠点の集約に大きな影響を与えている。

問題21　船荷証券に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．着荷主が貨物を受け取ったことを示す受取証としての役割をもつ。
イ．記載された貨物の引き渡し請求権を化体した有価証券である。
ウ．着荷主の請求があれば交付しなければならない。
エ．裏書により転売することは認められていない。

禁転載複製

問題22　在庫管理の目的とその対応において、在庫量の適正化という観点として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．コンビニエンスストアＡ社では、常に品切れを起こさぬよう、店頭の商品をこまめに補充している。
イ．卸売業Ｂ社では仕入原価を下げるため、メーカーからできるだけ大きなロットで仕入を行うようにしている。
ウ．メーカーＣ社では、投下資金の金利負担など、在庫を保有することによって生じる様々なリスクを考慮して、在庫をなるべく少なくするよう生産計画を組んでいる。
エ．インターネット書店Ｄ社では、注文への即応を考慮しつつ、品切れや過剰在庫を生じさせない在庫水準を設定し、それを維持するよう在庫管理を行っている。

問題23　適正在庫量の決定に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．特売、キャンペーンや天災等を加味した需要量のバラツキは、統計上の正規分布に従う。
イ．標準偏差は、値が小さいほどバラツキは大きくなる。
ウ．安全在庫とは、出荷量の平均に対して、出荷量が減少した場合に備えて保有する在庫である。
エ．在庫の調達リードタイムが長くなるほど、必要な安全在庫量は増加する。

問題24　在庫分析手法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．製品別の棚卸資産の効率がどの程度かを確認するため、製品別の出庫頻度を調べた。
イ．製品の補充頻度を見直すため、出庫量のパレート分析（ＡＢＣ分析）を行った。
ウ．在庫量が適正水準であるかどうかを確認するため、在庫保有日数を算出した。
エ．在庫処分を検討するため、在庫の不動期間を調べた。

問題25　棚卸及び棚卸資産に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．出荷量が多く、在庫回転率の高い商品を扱うビールメーカーＡ社では、在庫を正確に把握するため、毎月１回出荷を停止して一斉棚卸を行っている。
イ．品目が多い商品を扱う輸入ワイン卸売業Ｂ社は、１週間ごとに循環棚卸を行って、棚卸差異を修正している。
ウ．機械メーカーＣ社では、アイテム数は多いが変動の少ない補修用パーツの在庫について、毎日作業終了後に入出荷のあったアイテムについてのみ棚卸を行っている。
エ．コンビニエンスストアＤ店では、店頭在庫を流動資産として、貸借対照表の資産の部に計上している。

禁転載複製

問題26　貨物輸送における各輸送機関に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．貨物を輸送する船舶には、ＲＯＲＯ船、フェリー、コンテナ船等があるが、このうち、国際海上コンテナを輸送できるのは、コンテナ船のみである。
イ．航空機で貨物を輸送する場合は、国が推奨する標準規格であるＴ11型のパレットが利用される。
ウ．鉄道による貨物輸送は、貨物専用の車両を用いるものの他に、旅客車両に貨物を積載する「車扱輸送」もある。
エ．貨物自動車による貨物輸送は、国内の全輸送量に対し、トンベースで見てもトンキロベースで見ても最大の割合を占める。

問題27　運送会社Ａ社は、本社（東京都内）及び埼玉営業所を設置している。本社には自社トラック30両を配置している。また、埼玉営業所には自社トラック20両の他、傭車20両を用いて業務を遂行している。この場合の運行管理者の選任等に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．本社には、最低でも２名の運行管理者の選任が必要である。
イ．埼玉営業所には、最低でも２名の運行管理者の選任が必要である。
ウ．埼玉営業所の運行管理者は、宿泊を伴う運行などで必要な場合には、傭車のドライバーにも運行指示書を交付する必要がある。
エ．法令で認められた遠隔点呼等の機器を備えた場合には、埼玉営業所には、運行管理者は配置する必要はない。

問題28　消費者向けに販売される日用雑貨等の包装設計に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．外装は、消費者の購買意欲を喚起するよう、工夫を凝らしたデザインとする。
イ．個装は、リサイクルのしやすさを最重視して設計する。
ウ．消費者包装の表示についての規制は、全国一律である。
エ．個装・内装・外装のいずれも、通常はメーカーにより施される。

問題29　物流コストの算定方式に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流コストの算定方式は、トンキロ法・燃費法等、法令で定められている。
イ．損益計算書上の勘定科目に従う方式で、多くの企業で導入されている物流コスト算定方式は、財務省が定めたものである。
ウ．会社法が施行されて以降は、各企業の物流コスト算定方式が法的にも統一された。
エ．官庁による物流コストマニュアルは、コストの算定方法を示したものである。

禁転載複製

問題30　運賃や倉庫料金等に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．トラック積合せ運賃は、複数の荷主の貨物を混載できる場合に限り適用される。
イ．鉄道運賃は、貨物列車の運行スピードに応じて普通運賃と特急運賃に分かれる。
ウ．鉄道を利用する場合、駅までの集貨料は「発送料」として、駅からの配達料は「到着料」として鉄道利用運送事業者により届け出られている。
エ．倉庫料金において、個建てで保管料を支払う場合には、倉庫業法に基づく寄託契約ではなく、スペース単位での賃貸借契約を結ぶ必要がある。

問題31　物流コストの計算方法に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．輸送費には、支払運賃の他、自社の運転者の給与、燃料費、車両の減価償却費等が含まれる。
イ．原材料や部品を、自社トラックで購入先まで取りに行く場合の費用は、物流コストの中の輸送費には含まれない。
ウ．物流センターに運ぶまでの間、工場に隣接した倉庫に製品を置いておく場合、この倉庫費用は、物流コストの中の保管費には含まれない。
エ．包装のうち、消費者包装及び輸送包装にかかる費用は、物流コストの中の包装費に含まれる。

問題32　消費財メーカーにおける物流改善策により生じる機能別物流コストのトレードオフについて最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．全国４ヵ所に設置しているＤＣを、東西２拠点に統合することで、保管費と輸送費の間でのトレードオフが生じる。
イ．ＤＣの保管量を増やし、工場からＤＣへの輸送頻度を下げると、保管費と輸送費の間でトレードオフが生じる。
ウ．レンタルパレットを導入して荷役を機械化したとき、パレットのレンタル費用と荷役費のトレードオフが生じる。
エ．需要予測の精度を向上させることで、保管費と輸送費の間でトレードオフが生じる。

問題33　受注処理システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．受注処理システムは、オーダーエントリー処理、出荷情報処理、オーダー管理から構成される。
イ．オーダー管理の対象は、「在庫引当済みで出荷済みのオーダー」、「在庫引当済みだが未出荷のオーダー」の２種類である。
ウ．出荷情報処理における代表的なピッキングリストには、シングルピッキングリスト、トータルピッキングリストがある。
エ．出荷情報処理で作成される出荷検品リストは、ピッキングリストや納品書で代替される場合もある。

禁転載複製

問題34　発注処理システムに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．コンビニエンスストア等での利用拡大が期待されているＡＩによる自動発注は、担当者が決定した発注内容の伝送を自動化するものである。
イ．ＥＯＳ端末は、受注内容を確認するために利用するものである。
ウ．発注情報の伝送を行うＶＡＮには、業種ＶＡＮや地域ＶＡＮなどがある。
エ．ＣＡＯ（コンピュータによる自動発注）は計算ミスや入力ミスを防止できるので、過剰在庫を削減する最もよい方法である。

問題35　在庫受け払い処理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．入荷検品では、入荷商品と発注明細との突合せを行うことが一般的である。
イ．倉庫管理システム上での商品入庫の確認は、当日入荷した全ての商品の入庫検品及び入庫処理の終了後に可能となる。
ウ．棚卸し時に在庫差異が発生した場合は、在庫の実数（実在庫）に修正する必要がある。
エ．出庫処理では、情報システム上と現品の在庫量に差異が発生した場合、差異の原因が判明するまで出庫処理を一時中断することが必要である。

問題36　ＴＭＳ（輸配送管理システム）の導入目的に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．貨物追跡などの物流サービスを向上させる。
イ．温暖化・大気汚染防止等の環境対策を推進させる。
ウ．顧客先でトラックの積卸し待機時間を短縮させる。
エ．トラックドライバーの負担を軽減させる。

問題37　ロジスティクス情報システムに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ロジスティクス情報システムは、モノの状況・動態を把握・処理・指示するシステムである。
イ．物流も環境問題との調和が重要となっており、輸配送に関わるロジスティクス情報システムでも、総走行距離の削減など環境問題への貢献を考慮することが必要である。
ウ．ロジスティクス情報システムでは、顧客満足度の向上ではなく、物流の効率化が優先される。
エ．入出荷や在庫の個数・数量を正確に把握することは、ロジスティクス情報システムの重要な役割である。

禁転載複製

問題38　企業の情報システムを大きく基幹系、業務系、情報系の各情報システムに分類した場合の記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．基幹系情報システムとは、企業活動における日常業務処理を行うシステムである。
イ．業務系情報システムとは、企業経営に直接的に関係する財務、会計、人事などの情報を管理・処理するシステムである。
ウ．情報系情報システムとは、社内外のコミュニケーションを目的とした電子メールやホームページ、グループウェアなど情報伝達・共有・管理を目的としたシステムである。
エ．情報系情報システムは、さらに計画系、実行系の情報システムに分けられる。

問題39　ロジスティクス情報システムの設計方針及び取組み方に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．当初の目的を達成できない主な原因は、その設計ステップにおいて、前工程である要件定義の不充分さよりも、後工程であるプログラム開発やテストの不充分さにある。
イ．ロジスティクス情報システムによって物流コストの削減や人手不足をカバーする省力化等を進めるための最適な方法は、最新の自動化システムや無線システムを導入することである。
ウ．ロジスティクス情報システムの設計では、顧客が求める全ての物流サービスに対応すべきである。
エ．ロジスティクス情報システムを、明確化された目的に沿って構築するためには、プロジェクトリーダーにシステム構築に必要な権限を持たせるべきである。

問題40　ＪＡＮコード（ＧＴＩＮ）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＪＡＮコードには、13桁のものと、８桁のものがある。
イ．ＪＡＮコードは、事業者コード、商品アイテムコード、チェックデジットからなる。
ウ．商品アイテムを表すコードは、事業者が一定のルールに基づいて設定する。
エ．事業者コードの先頭２桁は、その商品の原産国を表している。